

# 新型コロナウイルス感染拡大の影響広がる！

—令和2年敬念寺春彼岸法要の参拝者も激減—



参拝者がわずかだった春彼岸法要の光景も後々の記憶に！(2.3.20)



発行所  
岡谷市郷田一丁目6番3号  
TEL(0266)22-2524  
金松山 敬念寺  
発行  
敬念寺門信徒会  
編集  
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや  
彼(か)の人との  
出会(であ)いの時間

## 「新住職就任祝賀会・前任職御慰勞謝恩会」

延期の御案内

四月二十五日に開催することを予定して計画準備を進めてまいりましたが、「新住職就任祝賀会・前任職御慰勞謝恩会」につきましては、前号「敬念寺だより」で、「新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず延期とし今後の開催見通し・計画については、五月末発行予定の次号にてお知らせできるよう準備を進めてまいります。」とご案内させていただいたところでした。

一方、新型コロナウイルスの感染状況については、今月下旬緊急事態宣言が解除されたものの、第二・第三波のウイルス感染拡大が危惧されており、感染防止策の徹底「三密状態の回避」「人との接触機会の低減」「大勢の人が集まる会合の自粛」等Ⅱが引き続き求められている状態にあります。

このような状況下において、『ウイルス感染防止を第一に考え、ご高齢の方々を始め皆様に安心して祝賀・謝恩会にご参加いただくためには、開催を来年まで延期した方がよい。』という判断をさせていただきました。

(五月度常任委員会で協議・決定)

開催を心待ちにされていた門信徒の皆様には、再度の延期のお知らせで大変心苦しく申し訳なく存じますが、事情ご高察の上ご理解いただきますようお願い申し上げます。

改めての開催計画につきましては、今後発行する「敬念寺だより」等でお知らせさせていただきます予定です。

(開催目標目安・来春四月頃)

なお、新型コロナウイルス感染問題の今後の収束状況によっては、開催計画のご案内時期が流動的であることをお含みおきいただきたく、併せてよろしくお願ひ申し上げます。

令和二年五月三十一日

門信徒会長 千原 博幸

### 寺院行事

- 令和2年度門信徒会年次総会 中止(書面で承認)
- 新住職就任祝賀会・前任職御慰勞謝恩会 延期
- 第37回ファミリー参拝(サマースクール) 中止
- 第41回早朝連続参拝(8月1日~7日) 中止

### 定例法話会

- 6月20日(土) 講師 義本 弘導先生(大阪府)
- 7月20日(月) 講師 佐々木蓮乗先生(兵庫県)
- 8月20日(木) 講師 長野教区ご講師
- 9月20日(日) 講師 雲林 重正先生(新潟県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

## — 住職から —

住職就任後半年が経ちました。僧侶の名乗りをして三十年余であります。一山を預かる立場の難しさを痛感しております。

先哲やお支え下さった門信徒の皆様方が護ってこられた歴史の重み、責任ある立場であることを肌で感じながらの日々を過ごしております。経験が浅く至らないことが続いておりますが、皆様のお支えのもとに務めてまいる所存であります。

住職就任以降、前任職の職務を引き継ぎ、寺院活動も現況の活動を継続している状態ですが、この度の新型コロナウイルス感染症による自粛、三密の回避はお寺の基本的な活動にも大きく影響をしております。仏事は人と接することを基本とし、また行事や儀式は人が密に接する場で行うことが多く、「いのち」を問わせていただく場が、「いのち」を危うくする可能性(感染の危険)に繋がることを考えると躊躇(ちゅうちゆ)うところであります。

しかしながら、寺院活動のすべてを自粛するのではなく、人生の岐路とも言える葬儀・法事については制限のある中にも勤めている

現状です。日常の定例行事(お朝事・日曜礼拝)は、参拝者の有無に関わらずお寺では通常どおり行っております。なお、定例法話会、コールガンダー活動については中止しております。

今後の各法要・行事の開催につきましては、本紙紙面やホームページ、市民新聞等で告知をさせていただきます。その他仏事に関わることに付いては、まずお寺にお問い合わせ下さい。

前例をみない「全国非常事態宣言」を経験し、未だ解決策の見いだせない現状ではあります。この度の事態によって、社会・経済活動は大きく減退し、不安や苦境は続くことになるでしょう。

厳しい世相になるといのちの優劣を測ったり偏見、差別が横行するものです。

その中であって、大切にしたい思いとして、「いのちの在り方」をしっかりと持っていたいものであります。

「個」のいのちを尊重する昨今ですが、そのいのちはつながって初めてある「互い」のいのちであること、他のいのちのはたらきなくして、「私のいのち」は存在できない、存在しないのです。

積尊は、「天上天下唯我独尊」

— 三頁へ続く —

―二頁から続く―  
 「いのちは尊いものである。我がいのちは尊いが、他のいのちも等しく尊い。」と申されました。このお言葉を、いのちを見る上で大切にしたいものです。

私たちが抱える状況は夫々に違うのでありますが、共なるいのちであること、「共生」していく心を大切にしていきたいと思えます。最後にになりましたが、今後この寺院活動は状況の変化に応じ変えてまいりたいと思えます。

住職就任間もなく戸惑うことも多い中ではありますが、皆様方のお支えをいただきながら、敬念寺・浄土真宗のみ教えを大切に、愛山護法に務めてまいります。  
 合掌 (釋 宏真)

―常任委員会から―

新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の事態に遭遇し、本年度門信徒会の運営は通常とは異なり、本号掲載のような経過で活動することをお余儀なくされました。

門信徒の皆様にはご理解・ご了承いただきまますよう、よろしくお願いたします。  
 門信徒会長 千原 博幸

―教化委員会から―

今年度の教化委員会活動については、例年に沿った内容で計画しておりましたが、予期しない新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自粛(新しい生活様式の提唱)を考慮して、中止することとなりました。

中止する活動は次のとおりです。  
 ・ファミリー参拝(サマースクール)  
 ・早朝連続参拝

なお、お寺の日常行事(毎朝七時のお参り、日曜礼拝)は行われておりますので、夫々のご都合など考慮されてご参拝ください。

また、コールガンダー活動は九月から行う予定です。  
 コロナウイルス感染の早期の終息を願っております。  
 教化委員長 鷹野原 仁

―財務委員会から―

今年度も会費徴収をお世話の皆様を通じてお願いしています。期限は、新型コロナウイルスの状

況を考慮して、八月末(例年七月末)とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。  
 財務委員長 西山 周治

―会報組織委員会から―

敬念寺だよりの初号からの既刊号をデーター化(pdfに)して整理しました。

なお、第四号(昭和五十三年発行)がお寺に保管されていないため欠番となっております。

保管されている方がおりましたら、ぜひお寺までご連絡ください。

お寺のホームページには、第百号から最新号までを掲載してありますのでご覧ください。  
 会報組織委員長 白田 正夫

シリーズ

「おまじりのしおり」から①

お寺と門信徒会では、昨年八月に「おまじりのしおり」を作成しました。本堂入り口に配置してありますので、ご参拝の折にご活用下さい。

紙面にて、シリーズで掲載内容を随時ご紹介します。

☆☆☆☆☆☆☆☆

「敬念寺」は、「浄土真宗本願寺派」の寺院で、本山は「西本願寺(京都市)」です。

「浄土真宗」は、親鸞聖人(一七三三年―一二六二年)によって開かれた宗派です。

本尊は「阿弥陀如来(南無阿弥陀仏)」です。

「浄土真宗」は「南無阿弥陀仏」のみ教えを信じ、「必ず仏にやらせていただく身のしあわせをよるこび、常に報恩のおもいから世のため人のために生きること」をめざす人々のあつまりです。

従って、「南無阿弥陀仏」の名号のいわれをいろいろの場面でじっくり聴聞し、味わうことを大切にしています。  
 二〇二三年は  
 「親鸞聖人御誕生八五〇年」  
 二〇二四年は  
 「浄土真宗立教開宗八〇〇年」にあたります。

編集後記

新型コロナウイルスにより、いまだ経験したことがないような生活を強いられています。緊急事態宣言が解除されたとはいえ、第二波・三波が危惧され、御葬儀や法事、お寺への参拝も大きく影響を受けています。

門信徒会の活動も中止するものが多く、本紙面で明るい話題を紹介することができない状態です。このような中ではありますが、お寺では日常の定例行事は、密を避ける等の工夫をしながら行われていますので、ご都合に合わせてご参拝ください。

(白田 記)





今年は早く満開に (2.4.16)



マスクを着用しての委員会のような様子 (2.4.16)

四月十六日に開催し、元年度事業報告、決算報告、二年度事業計画案・予算案を審議し、緊急の場合に該当するとして議決しました。代議員であるお世話人の皆様には審議経過を添えて、資料を送付いたしました。

門信徒会(拡大)常任委員会



塚間川改修工事中

塚間川沿いの寺第二駐車場は、同河川改修工事のため、九月末まで半分程度駐車できませんのでご承知ください。

—お知らせ—

八月末日までに!

門信徒会費と護寺協力金のおお願い

今年も寺の維持管理の資金、更なる教化活動の振興のため、会費と護寺協力金のお願いに担当のお世話人が近日中にお伺いしますが、ご協力の程お願いします。

〇ご依頼額は年間三千元以上

※以上分が「護寺協力金」となります。

今年も!

—「護寺協力金」について御礼とおお願い—

財務基盤強化の一環として平成28年度に「護寺協力金」が新設されています。(今年で5年目となります。)

お世話人を通じ、年度会費3千円徴収の際にご協力をお願いしておりますが、お陰様で皆様のご理解・ご協力により広く定着し、財務健全化につながっております。【昨年度は74万円余のご協力を頂きました。】

(従来からご依頼額は3千円以上となっており、「会費3千円」の以上分の浄財を「護寺協力金」に充てています。)

この浄財は、全額「護寺基本金」に積み立てて、大規模営繕・大規模法要等の費用に備えています。

**今年も、担当のお世話人がお伺いした折には、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。**

敬念寺門信徒会

会長 千原 博幸

財務委員長 西山 周治

—令和2年度敬念寺門信徒会年次総会議案「書面議決」のお知らせ—

今年度の総会提出議案につきましては、門信徒会規則で緊急の場合を定めた規定により4月度常任委員会で議決させていただきました。なお、事後の総会で承認を得ることとされていますが、現下の状況から、5月度常任委員会で、総会の年内開催を断念し代議員のお世話人による「書面議決」により承認を得ることを決定させていただきましたのでお知らせします。また、4月度常任委員会で議決した議案については、同月中旬にお世話人の皆様に郵送させていただきました。

議案についてのご質問・ご意見がなかったことを申し添えさせていただきます。

令和2年5月31日

門信徒会長 千原 博幸